

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2012年7月23日

宮城県仙台市「六郷児童館」
プログラム「チョークでお絵描き」



砂を掃いたその場所にチョークで絵を描き、そのあと水をホースでかけて終了という内容が今回のワークショップです。六郷児童館では、小学生のみんなの顔を見るのは久しぶりです。ポツンポツンと覚えている顔も見つけて、再会の会話をかわしました。夏休みに入り、そんな小学生の顔も、なんだかみんなたくましく日焼けしています。遊戯室でごあいさつの後、参加メンバーに好きな色のチョークを選んでもらい、スタート！最初は線だけで描いていた子が、その中を塗りつぶすことを発見。そして、違う色と合わせ、まるでパステル画のような作品が仕上がって行きます。マンホールの蓋の模様をなぞるように描いてゆく男の子たち。言葉を書く子。算数の計算も進んでゆきます。定番のケンケンパもありました。たくさん出るチョークの粉をバケツの水にまぜて“色水づくり”をはじめたり。大きなクワガタを共同で制作する男の子チームは、じっくり腰を据えた作品づくりに徹しています。最後のお掃除。まだ遊びの続きの感覚なのか、自ら買って出る子が何人もいて、先生も「いつもこんな風の手伝ってくれるといいのに」と苦笑いです。こんなに楽しくてどうしよう！と思えるくらいの手応え感。見事ラスト、ホースの水しぶきに虹が架かった六郷児童館でした。

